

職員による自己評価

A 環境面

- ・バリアフリー化されていない部分もあるが、必要に応じて支援している。
- ・施設の大掛かりな清掃によるスタッフの負担が大きい。
- ・家具の角、建物の構造的に危険な箇所等、ご利用者への配慮が必要。
- ・職員の配置数は適切だが、職員の急な欠勤時や事務作業・施設管理業務が負担。

B 児童への支援内容

個別支援計画に沿った支援が行われ、ケースミーティングや、日々の朝礼・終礼・情報伝達を促進するための情報共有アプリ等で支援内容の共有や意見交換を行っている。

C 関係機関との連携

保育所等訪問支援の実施数も増えたので、・幼稚園・保育所・小学校との連携が増えた。

D 保護者への説明責任・信頼関係

面談を定期的に行うことで信頼関係が保たれている。

E 非常対応

ヒヤリハット事例を社内の他事業所と共有する等、安全面や虐待防止に力を入れている。

保護者による評価

A 環境面

概ね良い評価だったが、職員の配置数や専門性についての説明がほしいというご意見があった。

B 児童への支援内容

- ・概ね良い評価をいただけており、療育方針についてご理解いただけていると推察される。
- ・適切な支援内容の選択や活動プログラムの固定化についてやや評価が分かれた。

D 事業所からの情報発信

- ・保護者同士の連携支援や、ホームページ等による定期的な情報発信について事業所からのアプローチが少ないため、評価が大きく分かれた。
- ・月 1 程度の面談は良い評価をいただけており、もっと時間を長くしてほしいという意見もあった。

E 非常対応

事業所の方針にご理解いただけていると推察される。

事業所内での分析

【共通点】

- ・個別支援計画書に沿った支援が行われ、保護者側からも支援内容にご理解・ご協力が得られている。
- ・毎回のフィードバックや定期的な面談を通して、お子様の状況や課題についての共通理解ができ、必要な支援が行われている。
- ・非常時や緊急時の対応について、職員・保護者側の双方とも概ね良い評価だった。
- ・面談時間を確保しており信頼関係の構築につながっている。時間については柔軟に対応可能なため都度要望に合わせて対応していく。

【相違点】

- ・職員側より：事業所の清掃業務における改善点や指導空間の安全面についての改善点が挙げられた。
- ・職員側より：事務作業や施設管理業務に負担を感じている様子がうかがえた。
- ・保護者側より：保護者同士の連携支援や、事業所からの定期的な情報発信について評価が分かれた。
- ・職員側より：保護者同士の連携支援を行っていないが、保護者スペースの設置や Web セミナー(保護者勉強会)の開催等、補足できる取り組みを行っている。

分析・検討してみた…

事業所の強み

- ・個別支援計画書に基づき、一人一人に合った支援を行っている。
- ・定期的な面談時にご家庭での様子ご利用者の状況や課題について共有している。
- ・面談時の話や支援中のご利用者の様子を必要に応じて職員間で共有し、対応について話し合い、より良い支援につなげるようにしている。
- ・保育所等訪問の件数も増え、レンタルでの様子だけではなく園でのお子さんの様子を総合的に見ることで、多角的な支援につなげている。
- ・情報共有アプリを活用することにより、支援に関する職員間での共有や意見交換が積極的に行われている。

事業所の改善点

- ・日常の清掃で補えない部分(水回り・エアコン・換気扇等)の改善
- ・指導空間の安全面への配慮
- ・職員の業務分担や業務内容の見直し
- ・保護者同士の連携支援について、保護者スペースでの交流やWebセミナー(保護者勉強会)をどのように位置づけて、周知していくか。

事業所の改善への取り組み

- ・職員の業務分担や指導以外の業務内容(事務作業や施設管理業務)を見直し、他部署からバックアップを受ける・外部に委託できるところは委託する等、職員が支援の方に注力できる環境を作っていく。
- ・保護者同士が交流できる場としても、WEBセミナー(保護者勉強会)があるので、広報を積極的に行いたい。また、本社にテーマや開催希望日等のニーズを伝え、より充実した会になるよう、サポートしていきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度は回収率 80%と例年以上にご回答いただき、お忙しいところ誠にありがとうございました。今年度も新型コロナの影響を受けながらの運営となりましたが、遠隔支援等のご協力もあり大きな混乱なく運営を続けられております。皆様のご協力に感謝いたします。

支援内容に評価いただき保護者の皆様からの信頼を感じた一方で、職員の業務体制や保護者の方々への支援等の課題も見つかりましたので、改善していきたいと思っております。これからも保護者の皆様と職員が共通理解を持って、より良い支援を提供していけるようスタッフ一同、努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事業所名 発達療育 レンテ市川

児童発達支援管理責任者 辻本 由希子